

<p><b>1 学校教育目標</b></p> <p>「大磨 智誠」 ～知・徳・体を大きく磨き、人格の完成を目指す～</p> <p>↓</p> <p>「夢に向かって絆・全力・挑戦」 ～夢と誇りをもち、社会をたくましく生き抜く児童生徒の育成～</p>	<p><b>2 本年度の重点目標</b></p> <p>○夢に向かって(見通す力) 夢や目標に向かい、見通しをもって行動できる子</p> <p>①絆(関わる力)【徳】 お互いに認め合い、支え合い、人との絆を深める子</p> <p>②全力(活用する力)【知】 自ら考え、主体的に学習に取り組み、問題を解決しようと全力を尽くす子</p> <p>③挑戦(挑む力)【体】 いろいろなことに挑戦しようとする強い精神力と体力をもつ子</p>
---	--

**3 目標・評価**

**① 絆(関わる力)【徳】 お互いに認め合い、支え合い、人との絆を深める子**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
教育活動	●心の教育	①人権・同和教育の視点に立った支持的風土づくりの推進 ②教育相談等を通じた信頼関係の構築	①児童生徒の実態に応じ、自尊感情や人権意識を高める授業実践等を計画的に行う。 ②教育相談体制を確立して、児童生徒との信頼関係を構築し、全職員で共通理解をして、指導・支援にあたる。	①自尊感情の育成や人権意識の向上、仲間づくりに関わる実践を、児童生徒の実態に合わせて、年1回以上行う。 ②小中合同で、児童生徒について共通理解する場を、年3回設定する。また、毎週の職員連絡会等で、児童生徒の情報を共有し、職員間で共通理解を図る。	心の教育部	
教育活動	●いじめ問題への対応	①児童生徒の実態把握といじめの早期発見 ②情報モラル教育の推進	①月1回の心のアンケート等を行い、児童生徒の実態把握と職員間の共通理解を図る。 ②児童生徒の情報モラル意識を高める。	①児童生徒の実態に応じ、随時、ケース会議を行い、職員会議等でも伝える場をもち、関係職員を中心に、共通理解を図る。 ②継続的に情報モラル教室を実施し、保護者への啓発活動も行う。	生心徒の指導部	
教育活動	○生徒指導の充実	①7つの行動目標の徹底	①いつでも、どこでも、誰にでも、挨拶・返事を行うことができる児童生徒を90%以上にする。 ②無言清掃を行うことができる児童生徒を90%以上にする。 ③ルールを守って廊下歩行ができる児童生徒を90%以上にする。	①登下校時や授業時間など、全ての生活や学習場面で、挨拶・返事ができるよう、常に働き掛け、継続した指導を行う。 ②無言清掃への意識を高めるため、指導や指示も無言で行う。また、美化コンクールの取組を継続する。 ③静かに並んで廊下を歩くことを習慣化させるため、常に言葉掛けを行い、指導を継続する。	生徒指導部	

**② 全力(活用する力)【知】 自ら考え、主体的に学習に取り組み、問題を解決しようと全力を尽くす子**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
教育活動	●志を高める教育	①自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	①キャリア教育の視点から、自己の生き方に目を向けさせた学習活動に取り組み、具体的な夢や目標をもつことができる児童生徒を90%以上にする。	①キャリア教育に関わる学習活動を見直し、分類・整理を行う。発達段階と系統性を意識し、9年間を見通した学習活動を計画する。 ②各教科等での学習活動に取り組みさせる際に、学びの連続性を意識して、既習内容での振り返りを行わせるとともに、次の学習の目標につながる活動を仕組む。	教務部	
教育活動	●学力の向上	①基礎・基本の徹底と分かる授業の実践 ②家庭学習の習慣の定着	①各種検査等において、県平均を上回ることを目指し、児童生徒の「分かる授業」における肯定的回答率90%を目指す。 ②「うちどく」を含む家庭学習に取り組む児童生徒の割合を90%以上にする。	① 中間・期末テスト、聖テスト等においては、合格点を定め、基準に満たない児童生徒には再試験を実施し、重点的に個別指導を行う。 ② 各家庭に、家庭学習の手引きを配付し、保護者へも家庭学習への取組の協力を呼び掛ける。課題等の提出ができない児童生徒は、その日のうちに学校で取り組ませる。	教務部	

**③ 挑戦(挑む力)【体】 いろいろなことに挑戦しようとする強い精神力と体力をもつ子**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
教育活動	●健康・体づくり	①保健指導の充実 ②体づくりの推進 ③望ましい食習慣づくりを目指した食育指導の推進	①保健行事や保健指導を生かし、基本的な生活習慣や健康への意識向上を図る。 ②体育的行事等を通して、健康でたくましい児童生徒の育成を図るとともに、運動環境の充実を図り、外遊びの奨励をする。 ③給食指導を徹底し、食に対するマナーや意識の向上を図るとともに、食育指導を推進し、朝食の喫食率を90%以上にする。	①生活習慣と健康に関する調査を実施し、結果をもとに、保健指導を行ったり、保護者への啓発を行ったりする。 ②ボールや長縄を配付し、外遊びへの関心を高めるとともに、遊具等の使い方や遊び方を体験させ、自ら遊ぶ習慣づくりを行う。体育大会やひじりマラソンで、達成感や満足感を味わえる競技方法や練習方法を工夫する。 ③学級活動等において、食育指導を推進し、朝食の意義や大切さについて、児童生徒だけでなく、必要に応じて、家庭に協力を呼び掛ける。給食指導を全職員で行い、食に対するマナーや意識の向上を図る。	健康・体づくり部	

**本年度の重点目標に含まれない共通評価項目(あれば記入)**

領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策	担当分掌(部)	担当者
教育活動	○交流活動の推進	①児童生徒間の交流 ②ブロック間の交流	①生徒会と児童会の組織等の見直しを行い、共通した活動を通して、児童生徒間の交流を進める。また、交流活動を楽しんでいる児童生徒の割合を80%以上にする。 ②各ブロックの組織を意識した交流活動を進める。	①生徒会と児童会との連携を図り、挨拶運動、縦割り交流活動、地区児童生徒会、ちよボラ等の活動を計画的に実施する。 ②定期的に、生徒集会・児童集会・ブロック集会を行い、ノーマルスピーチを実施する。平和集会・文化発表会・中体連激励会への5・6年生の参加や年1回以上のブロック行事の企画・立案・実施を行う。	交流部	
学校運営	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	①学級・学年経営の充実 ②衛生管理の改善、充実 ③情報の共有化	①学年間の連携を深め、児童生徒への指導の充実と業務の効率化を図る。 ②職場の美化と多忙感解消のための業務の工夫改善を行う。 ③全職員が校内LANや既存の文書、SEI-Net等を有効活用する。	①職員連絡会での情報交換や意見交流を行い、共通理解に基づいた児童生徒への共通指導や学級・学年経営を推進する。 ②職員室等の整理整頓と事務処理のタイムマネジメントを行うとともに、定時退勤日や19:30退勤の確実な実施を目指す。 ③フォルダ内の整理を行う。既存の文書の有効な活用や効率的な文書作成、各種情報の伝達や配信など、職員間の連絡・調整を効果的に図る。	教務部	
学校運営	○開かれた学校づくり	①PTA活動の活性化 ②コミュニティスクールの充実	①学校教育への保護者や地域の関心を高め、授業参観やPTA行事等への参加率前年度比5%増を目指す。また、ノーテレビノーゲームデーの実施率90%以上を目指す。 ②学校運営協議会での情報交換や意見交流を生かし、地域とともにある学校を目指す。	①保護者への早めの文書配布等を行うとともに、事前のメール配信を行う。地域への広報活動も積極的に行う。また、学校HPを一本化し、一層の活用を図る。 ②学校運営協議会で共通理解した内容を、全職員や家庭・地域と共有するため、職員会議等で報告し、共通実践につなげる。	教務部	
学校運営	○教職員の資質向上	①校内研修及び授業研究会の充実 ②服務規律・危機管理に対する意識の高揚	①主体的な学びの視点で校内研究を推進し、指導方法の工夫・改善を行う。 ②信用失墜行為ゼロを目指す。	①主体的に学ぶ態度の育成を目指し、教師の授業力向上を図り、全員授業を通して、よりよい指導方法の工夫・改善を行う。 ②計画的な職員研修を行い、服務規律の保持や危機管理意識を高める取組を行う。	教務部	

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目